

令和7年度 矢賀学区まちづくり委員会 事業報告書

1 令和7年度の目標に対する事業実施の成果

・ 矢賀学区まちづくり委員会の活動について、地域内での認知度が高められた。
・ 事業を通して多世代のふれあいの場を設け、地域内での連帯感を増やす場になった。

2 ひろしまLMO運営助成金を活用した事業

1 事業名	各町内会防災組織支援	(17)事業中(1)事業
2 特定地域共同活動の分類	(8) 地域の防災又は減災に資する活動	
3 実施期間等		
(1) 実施期間	令和 7 年 5 月 ~ 令和 8 年 1 月	
(2) 実施場所	矢賀中央集会所（防災訓練、普通救命講習会）および 各町内会	
(3) 参加者数	延べ 287 人	
(4) 主催団体	団体名 矢賀学区まちづくり委員会（防災・安全部会）、各町内会	
4 取組内容	(具体的に記入してください。)	
・ 矢賀中央集会所で、広島東消防署の協力を得て「防災訓練&フェア」（11/16 開催）を開催した。（防災士による講演・VRによる災害映像視聴・段ボールベッドと車椅子実演） ・ 矢賀学区内の各町内会に於いて、各町内会が掲げるテーマ（ハザードマップの確認・広島市防災センターを訪問し訓練実施など）に沿って、それぞれ独自に防災訓練を実施した。 ・ 実施に当たっては、チラシや広報誌で、広く参加者を募集した。		
5 目的・効果	(事業計画書に記載した目的・効果の内容を踏まえて記入してください。)	
(1) 目的 ・ 実際に災害が発生した時に、避難遅れにならないよう、又、避難場所の運営が円滑に進められるように訓練を行う。 ・ 地域住民の防災意識の向上が図れる。 (2) 効果（事業の実施により、地域課題の解決にどのような効果があったか。） ・ 防災について、認識を高めることが出来た。 ・ 多種の防災グッズを知ることにより、避難場所の運営が円滑に進められる一助となった。 ・ マイタイムラインを知ることにより、避難時の声掛けなどのタイミングを把握することが出来た。 ・ 各町内会で実施した防災訓練と合同で訓練したことで、防災に関する理解の相乗効果が得られた。		

1 事業名	自主学習支援	(17) 事業中 (2) 事業
2 特定地域共同活動の分類	(5) 地域の子ども及び子育て世帯への支援に資する活動	
3 実施期間等		
(1) 実施期間	令和 <u>7</u> 年 <u>7</u> 月 <u>25</u> 日、 <u>28</u> 日、 <u>30</u> 日	
(2) 実施場所	矢賀中央集会所	
(3) 参加者数	<u>延べ 100</u> 人	
(4) 主催団体	団体名 <u>矢賀学区まちづくり委員会(子ども・子育て部会)</u>	
4 取組内容	(具体的に記入してください。) ・チラシを作成し、HP や公式 LINE や地域内の掲示板に掲載するなどして広報を行った。 ・夏季休業時に、小、中学生を対象に自主学習出来る場を提供した。 ・学習支援については、子ども部会登録の大学生 1 名と広島市立二葉中学校生徒のボランティアが、受付は地域住民が担当した。	
5 目的・効果	(事業計画書に記載した目的・効果の内容を踏まえて記入してください。) (1) 目的 ・夏の長期休みに規則正しい生活をする習慣をつける。 ・気軽に質問できる学習の場を提供し、学生や地域住民と交流を図りながら、子どもたちの健全な育成につなげる。 (2) 効果 (事業の実施により、地域課題の解決にどのような効果があったか。) ・学習環境を整えることで勉強に関心を持ち、学力向上の一助となった。 ・自主学習の習慣をつけることができ、健全な成長につながった。 ・中学生の支援によりボランティア意識が向上した。	

1 事業名	七福神「春の陣」&スポーツ体験会	(17)事業中(3)事業
2 特定地域共同活動の分類	(2) 地域住民の健康の維持増進に資する活動	
3 実施期間等		
(1) 実施期間	令和 7 年 5 月 18 日	
(2) 実施場所	二葉の里歴史の散歩道 および 矢賀中央集会所	
(3) 参加者数	70 人	
(4) 主催団体	団体名 矢賀学区町づくり委員会(子ども・子育て部会)、矢賀学区体育協会、東消防団矢賀分団、広島東交通安動推進隊矢賀班	
4 取組内容	(具体的に記入してください。)	
・矢賀学区内住民と、二葉の里に伝わる歴史道を歩く七福神「春の陣」&スポーツ体験会を行った。 ・國前寺・尾長天満宮・広島東照宮を二葉の里ボランティアガイドに説明してもらいながら見学した。 小学3年生以下とその保護者は尾長天満宮で折り返し、ティーボール体験会を行った。 ・矢賀小学校に帰着後、昼食をとり、矢賀中央集会所でインドアモルックの体験会を行った。 ・行事開催のチラシを作成し、掲示板やHPで案内した。(いきいきポイントの対象事業)		
5 目的・効果	(事業計画書に記載した目的・効果の内容を踏まえて記入してください。)	
(1) 目的 ・子どもたちの活動の機会を増やす。(学校での行事が縮小傾向の中、実体験を通し心豊かな成長を見守る。子ども同士と一緒に活動する機会が減っている。) ・親以外の地域の大人との集団活動を通じて、互いを思いやり、協力し合うことを学び、より良い人間関係の形成につなぐ。 ・ティーボールの体験会を行うことで、子どもの体力向上、運動をする習慣づくり。 (2) 効果(事業の実施により、地域課題の解決にどのような効果があったか。) ・子どもたちが活動する機会を増加させることが出来た。 ・子ども同士あるいは子どもと大人がふれあったことで、コミュニケーション能力の向上に役立った。 ・子どもの体力向上、運動する習慣作りのきっかけになった。		

1 事業名	第62回 歩こう会 七福神「冬の陣」 二葉の里ウォーク	(17)事業中(4)事業
2 特定地域共同活動の分類	(2) 地域住民の健康の維持増進に資する活動	
3 実施期間等		
(1) 実施期間	令和 8 年 2 月 18 日	
(2) 実施場所	二葉の里歴史の散歩道（饒津神社・明星院）、矢賀中央集会所	
(3) 参加者数	70 人	
(4) 主催団体	団体名 矢賀学区町づくり委員会（子ども・子育て部会）、矢賀学区体育協会、広島東交通安全推進隊矢賀班、東消防団矢賀分団	
4 取組内容	(具体的に記入してください。)	
・矢賀学区住人と二葉の里に伝わる歴史道を歩く七福神「冬の陣」＆スポーツ体験会を実施した。 ・饒津神社と明星院を二葉の里ボランティアガイドに説明してもらいながら歩いた。 ・行事開催のチラシを作成し、掲示板やHPで案内した。(いきいきポイントの対象事業)		
5 目的・効果	(事業計画書に記載した目的・効果の内容を踏まえて記入してください。)	
(1) 目的 ・子どもたちの活動の機会を増やす。(学校での行事が縮小傾向の中、実体験を通し心豊かな成長を見守る。子ども同士と一緒に活動する機会が減っている。) ・親以外の地域の大人との集団活動を通じて、互いを思いやり、協力し合うことを学び、より良い人間関係の形成につなぐ。 ・今まで実施してきた「歩こう会」の後継事業として継続する。 (2) 効果（事業の実施により、地域課題の解決にどのような効果があったか。） ・子どもたちが活動する機会を増加させることが出来た。 ・子ども同士あるいは子どもと大人がふれあったことで、コミュニケーション能力の向上に役立った。		

1 事業名	いちご狩り	(17)事業中(5)事業目
2 特定地域共同活動の分類	(5) 地域のこども及び子育て世帯への支援に資する活動	
3 実施期間等		
(2) 実施期間	令和8年 <u>3</u> 月 <u>29</u> 日 ～ 令和 <u>8</u> 年 <u>3</u> 月 <u>29</u> 日	
(3) 実施場所	モグベリー (安佐北区白木)	
(4) 参加者数	<u>59</u> 人 (スタッフ9人、保護者10人、子ども40人)	
(5) 主催団体	団体名 <u>矢賀学区まちづくり委員会</u> <u>矢賀子ども・子育て部会</u>	
4 取組内容	(具体的に記入してください。)	
・矢賀学区在住の3歳以上を対象として、いちご狩り体験ツアーを実施した。 ・行事開催のチラシを作成し、掲示板やHPで案内した。		
5 目的・効果	(事業計画書に記載した目的・効果の内容を踏まえて記入してください。)	
(1) 目的 町内の子どもたちの交流、小さいお子さんがいる保護者の方同士の交流の機会として。また、公共機関を使つての移動や普段と違う施設に行くことで、社会のルールを学び経験する機会とする。 (2) 効果 (事業の実施により、地域課題の解決にどのような効果があったか。) 子どもたちはルールを守って楽しい体験が出来た。新一年生の親同士で交流でき良い機会を作れた。子どもたちに関連しつつ町内の交流の場としての一助となった。		

1 事業名	ふれ愛・イン・やが	(17)事業中(6)事業
2 特定地域共同活動の分類	(5) 地域のこども及び子育て世帯への支援に資する活動	
3 実施期間等		
(1) 実施期間	令和__7年11月15日	
(2) 実施場所	矢賀小学校	
(3) 参加者数	400 人	
(4) 主催団体	団体名 矢賀小PTA、(矢賀学区体育協会、矢賀学区民生委員児童委員協議会、矢賀学区地域活動クラブ、やが和太鼓クラブ が協力)	
4 取組内容	(具体的に記入してください。)	
・PTAと共催で、開催に向け協議を重ねたが、PTA 会長と会長の意見の相違により今回はまちづくり委員会としては参加しない方針に決定した。(PTAからの協力者が役員以外ゼロに異論を発し、協力しなかった。来年度以降はPTAが解散の為まちづくり委員会が主催となって開催をする方針である。) ・小学校の児童及び地域の人を対象に次の体験型イベントを開催した。 ・スポーツ教室 ・ミニサッカー ・紙工作 ・謎解きゲーム ・工作遊び ・クイズラリー ・やが和太鼓クラブの演奏 等 ・行事開催にあたっては、PTA がチラシを作成し、HP や地域内の掲示板に掲載して広報を行った。 ・同時開催で献血(矢賀学区献血推進協力会)を行った。		
5 目的・効果	(事業計画書に記載した目的・効果の内容を踏まえて記入してください。)	
(1) 目的 ・地域住民の地域愛を向上させ、人間性豊かな人材育成に役立てる。 ・体験型イベントにより、豊かな個性を育てる。 ・工作遊びの楽しさを知る。 ・長年開催していた矢賀小の地域合同行事「ふれ愛・イン・やが」を絶やさず継続する。 (2) 効果(事業の実施により、地域課題の解決にどのような効果があったか。) ・行事を通して地域住民と接触することで、地域愛を感じ、人間性豊かな人材育成に役だった。		

1 事業名	各町内会ラジオ体操実施	(17) 事業中 (7) 事業
2 特定地域共同活動の分類	(5) 地域のこども及び子育て世帯への支援に資する活動	
3 実施期間等		
(1) 実施期間	令和 <u>7</u> 年 <u>7</u> 月 <u>22</u> 日 ~ 令和 <u>7</u> 年 <u>8</u> 月 <u>8</u> 日	
(2) 実施場所	矢賀小学校中庭、矢賀3丁目、矢賀新町公園、矢賀新町第2公園、矢賀第2公園、東山第1公園	
(3) 参加者数	<u>180</u> 人	
(4) 主催団体	団体名 <u>矢賀学区まちづくり委員会、各町内会</u>	
4 取組内容	(具体的に記入してください。)	
・町内会ごとに、児童・生徒に限らず、大人を含めた全町民を対象に、夏休みの一部期間、朝のラジオ体操を行った。 ・実施にあたっては、チラシを作成し、HP や地域内の掲示板に掲載するとともに、各世帯に配布するなどの、広報を行った。		
5 目的・効果	(事業計画書に記載した目的・効果の内容を踏まえて記入してください。)	
(1) 目的 ・子どもたちは夏休みに入り、毎日の登校がなくなる。 これまでの規則正しい生活習慣を維持するために、早朝のラジオ体操を町内会ごとに開催し、早寝・早起きの習慣を維持させる。 (2) 効果（事業の実施により、地域課題の解決にどのような効果があったか。） ・児童・生徒だけでなく、大人も参加したことにより、地域全体の健康増進のほか、朝のあいさつなど地域の活性化に寄与できた。		

1 事業名	お楽しみ企画	(17)事業中(8)事業目
2 特定地域共同活動の分類	(5) 地域のこども及び子育て世帯への支援に資する活動	
3 実施期間等		
(5) 実施期間	令和 7 年 8 月 20 日、 令和 8 年 2 月 28 日	
(6) 実施場所	矢賀中央集会所	
(7) 参加者数	140 人	
(8) 主催団体	団体名 矢賀学区まちづくり委員会 (子ども・子育て部会) 協力 (矢賀学区子ども支援クラブ、矢賀学区民生児童委員協議会)	
4 取組内容	(具体的に記入してください。)	
・ こどもワークショップと題して、日頃自宅でできないような子ども遊びを体験する為、かき氷、アイロンビーズでキーホルダーを作った。(8月20日実施) ・ 冬の縁日と題して、ストラック・モルック・お菓子取り・魚釣り・射的などのゲームを行い、子ども同士・子どもと大人の交流を深めた。(2月28日実施) ・ 開催に当たっては、広報誌・チラシで参加者を募集した。		
5 目的・効果	(事業計画書に記載した目的・効果の内容を踏まえて記入してください。)	
(1) 目的 ・ 世代を超えた子ども同士の交流の場を設ける。 ・ 小さい頃の体験を豊富にし、感性豊かな子どもに育つ環境づくりをする。 ・ ゲームばかりの環境から新しい遊びを見つける。 現代社会に欠けている三つの間(時間、仲間、空間)をつくることにより心にゆとりのある子どもに育てる。 (2) 効果(事業の実施により、地域課題の解決にどのような効果があったか。) ・ 様々な体験をすることで、感性豊かな子どもに育つことができた。 ・ 小さい頃の実体験は成長しても心のどこかに留まり、いずれは地域住民として定着。 ・ 地域の放課後支援からも参加があった。 ・ 大学生・高校生の応援も得られた。		

1 事業名	やが和太鼓クラブ支援	(17)事業中(9)事業
2 特定地域共同活動の分類	(5) 地域のこども及び子育て世帯への支援に資する活動	
3 実施期間等		
実施期間	令和__7年__4月 ～ 令和__8年__3月	
実施場所	矢賀小学校体育館 ほか	
参加者数	__30__ 人 (クラブ員数)	
主催団体	団体名__やが和太鼓クラブ、矢賀学区まちづくり委員会 (こども・子育て部会)__	
4 取組内容	(具体的に記入してください。)	
・練習の成果が披露できる場を設け、クラブ員の意識向上を図るとともに、活動内容を多くの人に知ってもらうため、ふれ愛・イン・やが、盆踊り大会、中山福祉センターまつり、あけぼの寿老園等で発表した。 ・部員の獲得に向けて広報活動を行った。		
5 目的・効果	(事業計画書に記載した目的・効果の内容を踏まえて記入してください。)	
(1) 目的 ・地域内の伝統行事がマンネリ化していく中で、地域の活性化や人材育成を図る目的で「やが和太鼓クラブ」の活動を幅広く広報し、部員の獲得を図り伝承する。 (2) 効果 (事業の実施により、地域課題の解決にどのような効果があったか。) ・子どもたちが集まって活動することで、子ども同士、あるいは、発表の場では子どもと大人がふれあい、コミュニケーション能力の向上の一助となった。 ・「やが和太鼓クラブ」のバナーを作成し、演奏の場に掲示することにより、認知度を高めることが出来た。		

1 事業名	スポーツ体験会	(17) 事業中 (10) 事業
2 特定地域共同活動の分類	(2) 地域住民の健康の維持増進に資する活動	
3 実施期間等		
実施期間	令和 7 年 5 月 18 日	
実施場所	矢賀小学校グラウンド	
参加者数	14 人	
主催団体	団体名 矢賀フットボールクラブ・矢賀ソフトスポーツ少年団	
4 取組内容	(具体的に記入してください。)	
・矢賀小学校グラウンドにおいて、スポーツ体験会を開催した。普段の練習を気軽に見学してもらい、クラブの活動内容や取り組みについて紹介した。 ・矢賀フットボールクラブと矢賀ソフトスポーツ少年団に運営を任せた。		
5 目的・効果	(事業計画書に記載した目的・効果の内容を踏まえて記入してください。)	
(1) 目的 練習の見学や体験を通じて、サッカーやソフトボール、ティーボールの楽しさを伝えるとともに、クラブ活動に対する理解を深めてもらい、スポーツに関心を持ってもらおう。 (2) 効果（事業の実施により、地域課題の解決にどのような効果があったか。） ・体験会参加後、矢賀小学校1年生の2名が矢賀フットボールクラブに加入した。 ・部員の増員につながったほか、体力の向上、健康増進、スポーツを通じて児童・保護者・地域住民同士の交流を深めることができた。		

1 事業名	矢賀学区だより発行	(17) 事業中 (11) 事業
2 特定地域共同活動の分類	(14) (1)～(13)に掲げる活動の地域内外への情報の発信に資する活動	
3 実施期間等		
(1) 実施期間	令和 7 年 4 月 ～ 令和 8 年 3 月	
(2) 実施場所	矢賀学区内	
(3) 参加者数	180 人（編集委員延べ参加数）	
(4) 主催団体	団体名 矢賀学区町づくり委員会（広報部会）	
4 取組内容	(具体的に記入してください。)	
・毎月1回発行中の矢賀学区だよりを継続して発行した。 ・毎月の矢賀学区だより発行にあたり、読者の意見や投稿を収集して記事としての内容を編集委員のメンバーで検討した。 ・チラシを作成し、読者の意見や投稿を呼びかけた。		
5 目的・効果	(事業計画書に記載した目的・効果の内容を踏まえて記入してください。)	
(1) 目的 ・地域内の情報を発信することで、矢賀学区連合町内会・矢賀学区社会福祉協議会・矢賀学区まちづくり委員会に対する住民の意識向上を図る。 ・地域内外の住民が矢賀学区のまちづくりや矢賀地域の歴史や文化について、情報収集したり訪ねたりできる窓口をつくる。 (2) 効果（事業の実施により、地域課題の解決にどのような効果があったか。） ・情報を共有化したことにより、地域内の行事に参加者が増え、地域活動が活性化した。 ・地域内の住民に対しては、帰属意識の向上に役立ち、地域外の住民に対しては、矢賀学区の魅力等を知ってもらうきっかけになった。		

1 事業名	H P 運営	(17) 事業中 (12) 事業
2 特定地域共同活動の分類	(14) (1)～(13)に掲げる活動の地域内外への情報の発信に資する活動	
3 実施期間等		
(1) 実施期間	令和__7__年__4__月 ～ 令和__8__年__3__月	
(2) 実施場所	矢賀学区	
(3) 参加者数	__36__ 人 (3名×12か月)	
(4) 主催団体	団体名__矢賀学区まちづくり委員会 (広報部会)__	
4 取組内容	(具体的に記入してください。)	
・ホームページ・公式LINEで矢賀学区内の活動を広報した。 ・こむねっとの研修を受け、運用開始した。(3名)		
5 目的・効果	(事業計画書に記載した目的・効果の内容を踏まえて記入してください。)	
(1) 目的 ・地域内の情報を掲載し、地域の情報を共有することで、住民の意識向上を図る。 ・地域内外の住民が矢賀学区のまちづくりや矢賀地域の歴史や文化などについて、情報収集したり訪ねたり窓口を作る。 (2) 効果 (事業の実施により、地域課題の解決にどのような効果があったか。) ・地域内の行事の開催案内を掲載することにより、行事への理解が得られ、参加者の募集に役立った。 ・タイムリーに情報を提供できるようになり閲覧数も上昇した。		

1 事業名	パソコン教室	(17) 事業中 (13) 事業
2 特定地域共同活動の分類	(4) 地域住民の生涯学習に資する活動	
3 実施期間等		
(1) 実施期間	令和 7 年 11 月 29 日、30 日	
(2) 実施場所	矢賀新町集会所	
(3) 参加者数	10 人	
(4) 主催団体	団体名 矢賀学区まちづくり委員会（広報部会）	
4 取組内容	(具体的に記入してください。) ・ SNS における注意点や活用策などの講習会を開催した。 ・ 開催に当たっては、チラシを作成し、HP や地域内の掲示板に掲載して広報した。	
5 目的・効果	(事業計画書に記載した目的・効果の内容を踏まえて記入してください。) (1) 目的 ・ 矢賀学区内の人材育成や地域のニーズに応える研修をすることで、地域が活気づき住民同士のつながりを強化し、矢賀学区のまちづくりを担う人材育成を目的とする。 (2) 効果（事業の実施により、地域課題の解決にどのような効果があったか。） ・ SNS における注意点などの講習により、パソコンや携帯電話を使った情報処理が安全で効率的に駆使出来るようになった。	

1 事業名	夏祭り追悼盆踊り大会運営	(17) 事業中 (14) 事業
2 特定地域共同活動の分類	(11) 地域の伝統的な行事又は文化の継承に資する活動	
3 実施期間等		
(1) 実施期間	令和 7 年 8 月 3 日	
(2) 実施場所	矢賀小学校グラウンド	
(3) 参加者数	700 人	
(4) 主催団体	団体名 矢賀学区連合町内会、矢賀学区まちづくり委員会（実行委員会）	
4 取組内容	（具体的に記入してください。） ・ 矢賀学区連合町内会主催の「夏祭り・追悼盆踊り大会」の運営を協力して行う。 ・ 地域団体の出店に加え、被爆80周年特別企画として講話を実施。 ・ 「やが・和太鼓クラブ」と「どんぐり」の演奏の後、盆踊りを行った。 ・ 開催にあたっては、チラシを作成し、HPや地域内の掲示板に掲示し広報した。	
5 目的・効果	（事業計画書に記載した目的・効果の内容を踏まえて記入してください。） (1) 目的 ・ 夏の恒例行事として町内から期待されている「盆踊り大会」も矢賀学区連合町内会世話人の高齢化により、運営が厳しくなっており、矢賀学区まちづくり委員会を実行委員会として、地域団体と協力して運営し、地域内の活性化を図る。 (2) 効果（事業の実施により、地域課題の解決にどのような効果があったか。） ・ 事業を運営する役員等と、町民が交流することにより町民との意思疎通が図れ、地域の活性化につながった。 ・ 帰省中の日本被団協事務局長の浜住治郎氏に特別講話やパネル展示により、例年になく平和学習の機会を与えられた。	

1 事業名	新年のつどい	(17) 事業中 (15) 事業
2 特定地域共同活動の分類	(3) 地域住民の交流促進に資する活動	
3 実施期間等		
(1) 実施期間	令和__8__年__1__月__1__2__日	
(2) 実施場所	矢賀中央集会所	
(3) 参加者数	__50__ 人	
(4) 主催団体	団体名__矢賀学区まちづくり委員会（事務局）__	
4 取組内容	(具体的に記入してください。)	
・ 矢賀中央集会所で、「新年のつどい」と題し、情報交換や令和7年度実施行事を振り返り（実施事業のビデオ投影）、今後の活動の参考にした。 ・ 開催のチラシを作成し、掲示板やHPで案内した。（いきいきポイントの対象事業） ・ 地域住民で食事を食べながら交流を行った。		
5 目的・効果	(事業計画書に記載した目的・効果の内容を踏まえて記入してください。)	
(1) 目的 ・ 一般の参加者に対しては気軽に交流の場を設け、高齢者の方には外出する機会を作り健康維持を図る。 (2) 効果（事業の実施により、地域課題の解決にどのような効果があったか。） ・ 交流の場を設けたことで、地域の活性化が図れ、他町内や他団体の活動内容を知ることにより、今後の活動の刺激になった。		

1 事業名	やが祭り	(17) 事業中 (16) 事業
2 特定地域共同活動の分類	(3) 地域住民の交流促進に資する活動	
3 実施期間等		
(1) 実施期間	令和 7 年 10 月 4 日	
(2) 実施場所	矢賀小学校 体育館	
(3) 参加者数	150 人	
(4) 主催団体	団体名 矢賀学区まちづくり委員会（実行委員会）	
4 取組内容	（具体的に記入してください。） ・「のあ&WITH D」（就労支援 B 型事業所のあ）の南中ソーランの演舞、比治山大学神楽部の「熊襲征伐」「悪狐伝」の舞を行い、祭りを盛り上げた。 ・開催に当たってはチラシを作成し、HP や地域内の掲示板に掲示し、広報した。	
5 目的・効果	（事業計画書に記載した目的・効果の内容を踏まえて記入してください。） (1) 目的 ・矢賀学区連合町内世話人の高齢化により、運営が厳しくなっており、矢賀学区まちづくり委員会として、運営を支援し、町内の活性化を図る。 (2) 効果（事業の実施により、地域課題の解決にどのような効果があったか。） ・矢賀まつり開催で、高齢者が家から出て楽しむ機会が設けられ、健康増進や認知症の予防に寄与できた。 ・事業開催の役員や出演者と町民が交流することが出来て、参加した町民との意思疎通が図れたとともに活性化に役立った。 ・事業の運営に、中学生のボランティアにも参加してもらった。	

1 事業名	多世代カフェやがぼかぼか	(17) 事業中 (17) 事業目
2 特定地域共同活動の分類	(3) 地域住民の交流促進に資する活動	
3 実施期間等		
(1) 実施期間	令和 7 年 4 月 12 日 ~ 令和 8 年 3 月 14 日	
(2) 実施場所	矢賀中央集会所	
(3) 参加者数	約 1,500 人	
(4) 主催団体	団体名 矢賀学区まちづくり委員会 福祉・交流部会	
4 取組内容	(具体的に記入してください。)	
・月ごとの企画に沿って、毎月第2土曜日、午後1時半から3時半まで実施。 ・長く滞在してもらえるよう、困りごと相談、新鮮野菜販売、ドリンク、麻雀、折り紙工作、輪投げ、スマホ教室、将棋、オセロなど多様なあそび場を提供。また、ゲストを「お招きしでのプチイベント（ウクレレ演奏・音楽鑑賞会・警察による交通規則講演・新一年生を迎えるつどいなど）も開催した。 ・就労継続支援B型作業所「のあ」のキノコ販売とベーカリーカフェ「ソアー」のコーナーを設け、販売協力を行った。 ・広報のチラシをまちづくり委員会広報部が担当した。		
5 目的・効果	(事業計画書に記載した目的・効果の内容を踏まえて記入してください。)	
(1) 目的 ・新たなつながりの創出。 ・認知症の方やその家族が安心して過ごせる場であること。 ・子どもたちが参加することで、高齢者は子供たちから、子どもたちは高齢者から、感じるものがあり、いい刺激をもたらしている。高齢者の健康と子どもたちの成長にかかわる場であること。参加者に地域の繋がりを感じていただくこと。 ・いろんな方が集まるので、多世代の声を発信する場として、多面的に展開できる可能性を秘めている。 (2) 効果（事業の実施により、地域課題の解決にどのような効果があったか。） ・高齢者と子供たち、親子の交流の場として楽しく過ごしていただいた。 ・誘い合って参加してくださり、100人以上の参加があり、地域に定着した。 ・いろんな人が来てくださり、少しずつ新たなつながりが広がっている。 ・こどもたちがドリンクコーナーや野菜販売コーナーを喜んで手伝ってくれたこと。ちょっとした社会的訓練になれば、将来役立つことがあると思われる。 ・就労継続支援B型作業所に販売依頼することで社会参画の場を広げる一助となった。		

3 自主財源で実施した事業

年月日	事業名	特定地域共同活動の分類	実施内容
	なし		